

Plastic Design & Story Award 2018

～プラスチックの未来を拓くアワード～ 開催のお知らせ



様々な素材や形状のプラスチック容器を作ることのできるストレッチブロー成形機の大手総合メーカー、日精エー・エス・ビー機械株式会社（本社：長野県小諸市、代表取締役社長：宮坂純一）は、未来に向けたプラスチックの可能性を探求すること、新たな価値を提案できる優れたデザイナー・クリエイターを支援することを目的に、「Plastic Design & Story Award 2018 ～プラスチックの未来を拓くアワード～」を開催し、2018年8月1日（水）から10月31日（水）まで、作品を募集します。

第1回目となる今年度は「いれるもの、つつみこむもの。」をテーマに、毎日の生活体験を豊かにすることができる、斬新で柔軟なプラスチックの“容れもの”について、デザインとストーリーを募集します。外部の審査員については、デザイナーやアートディレクターとして国内外で活躍する鈴木啓太氏、平野敬子氏、角田陽太氏の3名を招聘します。

本アワードを通じて、国内外の若く優れたデザイナーやクリエイターが活躍できるための支援を行なうとともに、優秀かつ実現性の高いアイデアについては、日精エー・エス・ビー機械株式会社の持つプラスチック成形技術によりカタチにすることを目指し、プラスチックの新たな可能性や付加価値の探求を進めていきます。

【Plastic Design & Story Award 2018 開催概要】

公式 Web サイト：

<https://www.pdsa2018.com>

募集内容：

- ・ 今までの常識を覆すプラスチック容器の利用シーンとストーリー
- ・ プラスチック容器の性質及び素材としての特性を踏まえたデザインアイデア
- ・ 消費者目線の体験価値があり、市場へのインパクトをもたらすことのできる提案

募集期間：

- ・ 2018年8月1日（水）～2018年10月31日（水）

応募資格：

- ・ プロダクトデザイナー、クリエイター、アートディレクター等のクリエイティブ職の方
- ・ デザイナー、クリエイター等のクリエイティブ職を志す学生

審査員：

- ・ 鈴木 啓太（プロダクトデザイナー/PRODUCT DESIGN CENTER 代表）
- ・ 角田 陽太（プロダクトデザイナー/YOTA KAKUDA DESIGN 代表）
- ・ 平野 敬子（デザイナー/ビジョナー コミュニケーションデザイン研究所所長）
- ・ 廣松 邦明（日精エー・エス・ビー機械株式会社 取締役）



鈴木啓太



角田陽太



平野敬子

審査基準：

1. 創造性：デザインの先進性、アイデアの斬新性
2. 特徴理解：プラスチック製品の性能や特性を理解したデザインや使い方を提案できているか
3. 市場インパクト：消費者への訴求力を持ち、市場を変化させるようなインパクト有しているか
4. 社会課題解決：デザインやコンセプトが日本や世界各国の社会課題解決に寄与するか
5. 提案力：上記1～4についてのメッセージの的確さ、伝え方の上手さ

賞金：

- ・ 最優秀賞 1点 200万円
- ・ 優秀賞 2点 50万円

- ・ 入選 20点 10万円

主催：

- ・ 日精エー・エス・ビー機械株式会社 (<http://www.nisseiasb.co.jp/>)

協力：

- ・ 株式会社 JDN (<https://www.japandesign.ne.jp/>)
- ・ イグニション・ポイント株式会社 (<http://www.ignitionpoint-inc.com/>)

本件に関するお問合せ先：

- ・ Plastic Design & Story Award2018 運営事務局（担当：高木、滝沢）
pdsa2018@japandesign.ne.jp